

## はじめに

日本では、台風や大雨、暴風などにより、毎年のように風水害や土砂災害などが発生しています。さらに近年は、「ゲリラ豪雨」と呼ばれる局地的な大雨による内水はん濫、突風や竜巻などにより、日本各地で様々な被害が生じています。

平成21年には、7月に山口県防府市で集中豪雨による土砂崩れが発生し、8月にも兵庫県佐用町で台風9号に伴う大雨により大規模な水害が発生しました。

千葉県では、近年、治水事業が進み大規模な水害は少なくなってきましたが、過去には利根川を始め、県内各地で河川の氾濫がたびたび発生し、流域に大きな被害をもたらしました。

この防災誌では、利根川の洪水との闘いや、大正6年に浦安から五井付近まで被害をもたらした高潮、平成2年12月に茂原市に大きな被害をもたらした竜巻について、当時の記録や写真などから、被災の状況だけでなく、水害への対策事業や、度重なる洪水から生活を守るための人々の知恵についても紹介しています。本誌をお読みいただくことによって、風水害に対する備えへの一助となれば幸いです。

最後に、本誌の発行に当たり、資料の提供をご快諾いただいた多くの関係者の皆様に、心より感謝いたします。

平成22年 3月

千葉県総務部消防地震防災課